

田方森林組合だより やまなみ

第
16
号

令和7年
10月1日発行

去る6月26日に開催された当組合の「第21回通常総代会」において、全ての上程議案が無事可決されました。本年度も組合の安定経営を目指し努力する所存ですので、組合員の皆様をはじめ関係機関の方々、引き続きよろしくお願い申し上げます。

さて、当組合の令和6年度決算は、目標とする年間出材量1万㎡、事業総収益3億円に達する結果となりました。国内の一戸建て新築木造住宅戸数も減少し、以前に比べ木材価格も低迷傾向を示している厳しい条件下ではありますが、森林所有者の皆様との御協力、国・県・市等行政機関の御支援はもとより、組合役職員一同の熱意と努力による結果であると考えています。

本年7月、当組合の施業地において重大な労災事故が発生いたしました。被災者の御遺族様に対しては多大なご心労をおかけし謹んでお詫言申し上げます。

現時点で関係機関の御指導により業務内容を見直し、「業務改善計画」を策定して施業の安全確保に万全を尽くしております。この先、二度とこのような事故が発生しないよう安全第一の施業に努めて参りたいと決意を新たにしております。

今後、安全で安定した木材生産を継続するためには、今まで以上に関係機関の御指導を仰ぎ、官民が連携、協力し、持続可能な森林整備・木材生産体制を構築する必要があると感じています。当組合が十分に力を発揮し地域に貢献するためにも、組合員を始め関係機関の皆様との御指導、御協力をよろしくお願い致します。



代表理事組合長
岡田悦郎

組合長あいさつ

技術課 土屋 幸葉さん
(伊豆市在住)

◎ 就職のきっかけは？

親戚で林業をしている人が多いので林業はすぐ身近でした。森林組合っていう字もよく見ていたので、小学校の1年生ぐらいのときにはじめて書いた漢字が「森林組合」だったみたいです(笑)どういう仕事をしているのかっていうのも聞いていたので自然に入ろうと思いました。



職員紹介

令和7年4月に入社した
技術課 國府方 北斗さん (三島市在住)
土屋幸葉さん (伊豆市在住) を紹介します。

技術課 國府方 北斗さん
(三島市在住)

◎ 就職のきっかけは？

堀江統括と知り合いで職場見学をさせてもらいました。体を動かすのが好きだったので、見学して決めました。現場を見たときに、全部チェーンソーで人が伐ってると思ってたから、重機をたくさん使っていてすごいなあって、びっくりしました。



◎ 入社してどうですか？

- (北斗) 山に登ったり、作業は大変だけど、自分のチェーンソーをうまく使えるようになって楽しいです。今は先輩と二人で作業することが多くて、伐る前に伐倒方向とか注意するところとか教えてもらいます。
- (幸葉) 自分も山を登るのが大変ですけど、チェーンソーで思った通りに伐れると嬉しいですね。でも難しい。
- (北斗) 受け口※が合わないとか何回もやり直さないとだめだから大変だね。(※木を伐採する際に、倒したい方向に入れる切り込みのこと)
- (幸葉) 自分が時間がかかってやっと1本倒す間に先輩はたくさん倒してるし決めた方向に倒すからすごいと思う。

◎ これからの目標は

- (北斗) 一人でまかせて大丈夫だと思ってもらえるようになりたいです。
- (幸葉) みんなみたいにうまくなって仕事ができるようになりたいです。

堀江統括責任者 よりひとこと

あせらず学んでいってほしいです



組合員のみなさまへ

- 下記のような場合は、組合へご連絡ください
- ◇ 亡くなられた方名義の出資証券がある
- ◇ 住所が変わった ◇ 出資金を譲渡したい

発行
田方森林組合
〒410-2505 静岡県伊豆市八幡 761-1
TEL (0558) 83-0148
FAX (0558) 83-3757



Facebookやってます



ホームページはこちら

役職員紹介

◆ 理事

役 職 名	氏 名
代表理事組合長	岡田 悦郎
副 組 合 長	荻原 重孝
理 事	吉川 安衛
〃	西堀 勝廣
〃	飯田 光敏
〃	西尾 隆夫
〃	森 修司
〃	遠藤 正
〃	宮内 靖
〃	梅原 敏男
〃	鈴木 正
実践的能力理事	川口 千一

◆ 監 事

代 表 監 事	石井 敏陽
監 事	梅原勇一郎

◆ 総務課

理事兼事務局長	鈴木 正
総 務 課 主 任	牧嶋 幸美
〃	岡 咲子

◆ 業務課

理事兼業務課長	川口 千一
業 務 課 係 長	鈴木 一輝
業 務 課 主 任	坂井 昌子
〃	杉村 智美
業 務 課	高橋 光

◆ 技術課

統 括 責 任 者	堀江 倫弘
統括責任者補佐	櫻井 恭兵
〃	中山 亮
技 術 課 主 任	遠藤 潤
〃	篠原 一仁
技 術 課 副 主 任	加藤 卓真
技 術 課	鈴木 悠斗
〃	宮島 仁
〃	堀江 哲平
〃	國府方北斗
〃	土屋 幸葉
〃	鈴木 晴久

人工林資源が本格的な利用期を迎えているなか、将来にわたる公益的機能の持続的な発揮や、資源の循環利用のため、田方森林組合では主伐・再造林事業に取り組んでいます。

木材価格の低迷が続く造林費用の負担が大きい為、再造林の推進には造林作業の省力化や低コスト化が不可欠です。当組合では「伐採から造林までの一貫作業システムの導入」「コンテナ苗の使用」「下刈り回数削減」などを通して造林費用の縮減を図っています。写真は令和5年度に実施した主伐・再造林事業の様子です。



林事業実施地です。今年の6月に初めての下刈りを行いました。ヒノキの苗木は120cmほどに成長しています。

林業の持続的な経営と、健全な森林を育てるために今後も伐採後の再造林に力を入れていきたいと思っています。

主伐・再造林事業に取り組んでいます。…収穫して植えて育てて…

林業の魅力を発信 『林業出前講座』

令和7年8月20日、若者に林業の魅力伝える「環」として静岡県が開催している『林業出前講座』が開始されました。

静岡県立田方農業高校の生徒さんたちが、林業についてのガイダンスを受けた後に当組合の伐採現場に見学にいらっしゃいました。現場では伐倒作業、高性能林業機械を使った造材作業の実演、林業の仕事を上げる森林施業プランナーの仕事についても説明を行いました。

森林施業プランナーにはどういう人が向いていますか？という質問に、同校を卒業し入社3年目となる高橋が「お客さんと話す機会もあるのでコミュニケーションが取れた方がいかな」と答えています。あとは山をたくさん歩くので、体を動かすのが好きな人は誰でも挑戦してみたいと思います」と回答していました。

メモを取りながら熱心に聞いてくれた生徒さんたち。林業の魅力は伝わったでしょうか。暑い中での見学お疲れさまでした。



岡田組合長挨拶



議事の様子

損益計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
(単位:千円)

科 目	合 計
事業収益	300,155
事業費用	192,618
【事業総利益】	107,537
事業管理費	76,100
【事業利益】	31,437
事業外収益	340
事業外費用	90
事業外損益	250
【経常利益】	31,687
特別利益	20,081
特別損失	25,000
特別損益	▲ 4,919
【税引前当期純利益】	26,768
法人税、住民税額及び事業税額	6,920
【当期剰余金】	19,848
【前期繰越剰余金】	14,257
【当期末処分剰余金】	34,105

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:千円)

勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
現 金	28	購 買 買 掛 金	77
預 金	204,694	未 払 金	14,691
売 掛 金	0	未 払 消 費 税	0
未 収 金	57,940	未 払 法 人 税 等	6,920
棚 卸 資 産	101	預 り 金	1,085
立 替 金	175	固定資産購入引当金	33,000
仮 払 金	0	流 動 負 債 合 計	55,773
前 払 費 用	125	退職給付引当金	27,841
流 動 資 産 合 計	263,063	固 定 負 債 合 計	27,841
有 形 固 定 資 産	65,667	負 債 合 計	83,614
無 形 固 定 資 産	0	出 資 金	22,360
投資その他の資産	21,996	利 益 剰 余 金	244,622
固 定 資 産 合 計	87,663	資 本 準 備 金	130
資 産 合 計	350,726	純 資 産 合 計	267,112
		負債・純資産合計	350,726

剰余金処分

(単位:千円)

科 目	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金		34,105
II 剰余金処分額		20,000
法定準備金	▲ 12	
任意積立金	20,012	
III 次期繰越剰余金		14,105